

ここに注目！



地域の企業と連携した特徴ある取組による 近隣大型店との差別化

ポイント

地元タクシー業者が、近隣傾斜地域と商店街を結ぶ「乗合ジャンボタクシー」を年間300日・5ルート運行。公共交通機関の手が届かないルートを網羅することで多くの住民が利用し、更に商店街を発着場所とすることで周辺の大型店との差別化に成功している。また、アマチュア劇団が銀行跡地「枝光本町商店街アイアンシアター」を拠点に活動したことで劇団の聖地と呼ばれるようになり「枝光まちなか芸術祭」開催がメディアに取り上げられる等注目を浴び、よそもの、若者、民間会社が商店街活性化に寄与している。

[現状分析及び課題抽出]

Plan

コミュニティの核としての役割を大切に

隣接地区に大型店の立地が相次いだことから来街者が減少。更に高齢化率が上昇するなか買い物弱者対策として平成12年から地元タクシー業者が地域交通支援事業「枝光やまさか乗合ジャンボタクシー」を運行、大型店との差別化を図ってきた。

最近のアンケート調査で、当該地域は高齢者が多く健康増進への関心が高い。また近年若い世代が流入しており、交流の場、子育て支援の場としてのニーズが高まっている。今後、「枝光本町商店街アイアンシアター」のコミュニティの場としての更なる活用が期待される。

[対応策の優位性]

Do

枝光本町商店街だから買い物に行ける

月に2回の十日市、二十日市の売出しや商店街独自のポイントシステムであるパンダシールの取組により、売上げ増加を図っている。また、地元タクシー業者が公共交通機関の手が届かない道が狭く坂の多い地域で「枝光やまさか乗合ジャンボタクシー」を運営。運賃は一律150円ですべてのルートを商店街の発着としている。ジャンボタクシーで1日に約300人を商店街に運ぶことで来街者が増加し、最近の店舗

基本データ

枝光本町商店組合連合会

所在地:福岡県北九州市八幡東区枝光本町

人口:約7万人(北九州市八幡東区)

会員数:26名

店舗数:26店舗(買回品小売店4、最寄品小売店22、飲食店0、サービス店0、その他0)

商店街の類型:近隣型商店街・地域型商店街

主な客層:高齢者、主婦、家族連れ

関連URL:<http://otegarugekijou.org/irontheater/>

商店街概要

当該商店街が位置する地域は、1901年に官営八幡製鉄所が操業を開始して以来、製鉄所や関連企業の従業員の多くが近隣に移り住み住宅地が形成された。以降、製鉄所お膝元の商店街として発展してきたが、1990年本事務所の移転や製鉄所が合理化したのを機に急速に衰退した。しかしながら、現在もお生鮮食品と生活用品を中心に取り扱う身近な買い物の場として、また、地域コミュニティの核としての役割を果たしており、地域になくはならない存在となっている。



買い物弱者に配慮する商店街と「乗合ジャンボタクシー」数増加につながっている。

[効果の評価及び改善策]

Check-Action

行きたくなる商店街になるために

十日市や二十日市の売出しやポイントシステムだけでなく、家族で参加できるような仕組みを作って行

きたいと考えている。

また、乗合ジャンボタクシーが買い物弱者問題の解決などには貢献しているものの、高齢者の来街頻度増加のためのソフト事業の充実が望まれている。

今後は、「枝光本町商店街アイアンシアター」で(1)文化活動事業、(2)ミニ図書館事業、(3)健康相談事業、ほかにも地域住民参加型イベントを行い、地域コミュニティの核としての機能向上をめざす予定である。

ある(株)光タクシーの出資で設立されたまちづくり会社「(株)枝光なつかしい未来」と連携し、「枝光地域商店街コミュニティ施設設置事業(地域商店街自立促進事業)」を活用した枝光本町商店街アイアンシアターの機能拡充や「一見さんいらっしゃい!ようこそ枝光本町商店街(地域商店街活性化事業)」を活用した参加型イベントを実施するなど商店街の活性化に努めている。



後継者を中心に若者・女性目線で活性化に取り組む

[実施体制等]

「よそのもの・若者・女性」の力で活力を導入

商店街に後継者が戻ってきたことをきっかけに30代~40代の後継者15人(うち女性8人)が集まるようになった。平成26年6月から(株)全国商店街支援センターのトータルプラン作成支援事業ビジョンづくりコースを活用し、若者・女性目線で商店街の今後について検討を重ねている。

また、平成26年7月に地域交通支援事業の要で

地域の方々が集い、絆を確認できる場所ではないかと思ってきました。そこで、平成26年7月、まちづくり会社である「(株)枝光なつかしい未来」を設立しました。今後は商店街に隣接する劇場「枝光本町商店街アイアンシアター」の機能を拡充し、地域住民参加型のイベントを商店街とともに実施していきたいと思えます。

すべての世代に優しい商店街を目指して

現在青年部は設立して日も浅く、枝光本町商店組合連合会が行うイベントの実行部隊として活動し、先輩方のノウハウを学んでいます。商店街の将来を担う立場から、今後は買い物の場としてだけでなく「地域の居間」として必要とされる商店街を目指して新しい売出しやイベントを実施していきたいと考えています。将来的には買い物が困難な方々に対して出張販売をしたり、若い子育て世代のファミリーを対象とした夜市などの交流の場を提供したりできないかと研究を進めています。

「地域の居間」になるために、商店街の枠組みを越えて、周辺の若者達と協力し、民間企業や団体とも連携しながら『よそのもの・若者・女性』のパワーを発揮したいと思えます。

キーパーソン

(株)光タクシー
代表取締役社長
石橋 孝三

枝光本町商店街青年部
黒木 伸広(左)
近藤 洋子(右)

地域交通が起こした奇跡

(株)光タクシーは、交通事業者として自動車社会がもたらす地域の衰退を食い止めたいという思いから「枝光やまさか乗合ジャンボタクシー」の運行を開始しました。様々な困難もありましたが、本年15年目を迎え、地域の方々が商店街で買い物をするお手伝いが少しでもできているのではと思っております。

しかしながら、商店街は買い物ができればいいだけの場所ではなく、地域コミュニティの核として、